

平成25年第2回燕市議会定例会  
一般質問日程表

| 質 問 日    |    | 質 問 者 |           |   | 質 問 方 式 |      |
|----------|----|-------|-----------|---|---------|------|
|          |    |       |           |   | 一括質問    | 一問一答 |
| 6月12日(水) | 午前 | 1     | 中島 清一 議員  | ○ |         |      |
|          | 午後 | 2     | 本多 了一 議員  | ○ |         |      |
|          |    | 3     | 樋浦 恵美 議員  | ○ |         |      |
|          |    | 4     | 小林 由明 議員  |   | ○       |      |
|          |    | 5     | 田辺 博 議員   | ○ |         |      |
| 13日(木)   | 午前 | 6     | 渡邊 雄三 議員  | ○ |         |      |
|          |    | 7     | 中島 義和 議員  | ○ |         |      |
|          | 午後 | 8     | 土田 昇 議員   |   | ○       |      |
|          |    | 9     | 齋藤紀美江 議員  | ○ |         |      |
|          |    | 10    | 齋藤 信行 議員  | ○ |         |      |
| 14日(金)   | 午前 | 11    | 山崎 雅男 議員  | ○ |         |      |
|          |    | 12    | 埴 豊 議員    | ○ |         |      |
|          | 午後 | 13    | 渡邊 広宣 議員  | ○ |         |      |
|          |    | 14    | タナカ・キン 議員 |   | ○       |      |
|          |    | 15    | 中山 眞二 議員  |   | ○       |      |
| 17日(月)   | 午前 | 16    | 丸山 吉朗 議員  | ○ |         |      |
|          |    | 17    | 大原 伊一 議員  | ○ |         |      |
|          | 午後 | 18    | 長井由喜雄 議員  |   | ○       |      |
|          |    | 19    | 大岩 勉 議員   |   | ○       |      |
|          |    | 20    | 阿部 健二 議員  | ○ |         |      |

平成25年第2回燕市議会定例会「一般質問表」

| 発言の順序 | 発 言 者    | 質問項目<br>(大項目)           | 質問要旨<br>(中項目)        | 具 体 的 な 内 容<br>(小項目)   |
|-------|----------|-------------------------|----------------------|--|
| 1     | 中島<br>清一 | 1. 人口減少問題について           | (1) 本市における実態と対策について  | <p>① 県内市町村の総人口推計によると、本市は27年後の2040年には62,613人となり、2010年度の81,876人と比較して19,263人の人口減となる推計が示されている。人口減の原因、要因は何か。</p> <p>② 本県の15歳未満の子どもの数は289,267人(4月1日現在)で前年より5,315人減少した。人口構成を年齢別でみると14歳の22,269人が最多で、0歳の17,234人が最も少なく年齢が下がるほど人数が少ない傾向となっている。<br/>本市における子どもの人口構成はどうなっているか。</p> <p>③ 子どもの数の減少に伴い、将来、小学校の統廃合が問題になると思われるが、市としてどのように考えているのか。</p> <p>④ 人口減少の歯止めとして、少子化対策が求められている。本市においても、医療費助成をはじめ子育て環境整備に取り組んでいる。<br/>市外からの移住促進策として、本市では定住促進・まちなか支援事業に取り組んでいるが、妙高市には新婚世帯を対象にした賃貸住宅の家賃補助制度がある。本市においても検討されたらどうか。</p> <p>⑤ 県では、有識者による「県人口問題対策会議」が設置された。本市においても、県と同様の「対策会議」を設置されてはどうか。</p> |
|       |          | 2. 浄水場の放射性セシウム汚泥の処理について | (1) 保管量の現状と対策について    | <p>① 放射性セシウムを含んだ汚泥の保管量はどれくらいあるのか。</p> <p>② 汚泥はセシウム濃度が1キログラム当たり8,000ベクレルを超えた場合は国が処理し、100～8,000ベクレルは管理型処分場での埋め立てを自治体に求めている。国は3月に400ベクレル以下は園芸用に、200ベクレル以下はグラウンドの土に再利用できるとしたが、本市の対応・対策について伺う。</p>  |
|       |          | 3. 治水対策について             | (1) 大河津分水路の改修計画について  | <p>① 大河津分水路については、河口に向かい川幅が狭まる形状のため、水を流す力が不足している。河口部の山地を削る改修計画案が示されているが、今後の計画について伺う。</p>  |
|       |          | 4. 教育問題について             | (1) 小中学校における防災教育について | <p>① 県では、子どもたちが災害から身を守る方法を学ぶ「防災教育プログラム」が本年度からスタートする。「子どもたちに自らの命を守り抜く主体的な行動力を身につけてほしい」としているが、本市における防災教育の現状について伺う。</p>   |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言者  | 質問項目<br>(大項目) | 質問要旨<br>(中項目)            | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|------|---------------|--------------------------|---|
| 1     | 中島清一 |               |                          | ②災教育プログラムは津波、地震、洪水災害、土砂災害、雪災害、原子力災害の6編からなり、津波編は既に各学校に配布済みとのこと。<br>授業にはどのように活用されるのか。   |
|       |      |               | (2) 就学援助制度について           | ①経済的な理由から、就学が難しい小中学生を支える「就学援助」制度ではあるが、8月から引き下げ方針が決まった、生活保護の基準額が適用の目安になっており、対象から外れる子どもが出る恐れが指摘されている。<br>本市における「要保護」、「準要保護」の人数を伺う。<br>②全国の200自治体を調査したところ、修学旅行や体育の授業で使う柔道着など、援助の範囲や周知方法にバラツキがあったという。<br>本市においては、制度の周知について問題やトラブルはなかったのか。 |
| 2     | 本多了一 | 1. 農政の問題について  | (1) 燕市政の中での農政の位置づけについて   | ①国の農政との関係で、燕市独自の積極的な施策が展開できないできているのではないかと。  |
|       |      |               | (2) 農林水産業費の予算について        | ①農林水産業費は、一般財源充当額の構成比率は2.4%、これでは低いのではないかと。   |
|       |      |               | (3) 青年就農給付金事業について        | ①なぜ新規に青年が農業に就労しないのか、どう考えるか。   |
|       |      |               | (4) TPP参加について            | ①安倍内閣の公約を破って進めたTPP参加について、市長はどのような感想をもっておられるか。   |
|       |      | 2. 教育問題について   | (1) 教育現場の状況について          | ①いじめ、不登校にどう対応するか。<br>②先生方は多忙すぎないか。<br>③全国的、全県的な傾向で先生が精神的に悩み、そのため病に落ちこむ傾向があるとされるが、燕市ではそういうことはないか。<br>④教員の体罰があるとすれば、どのような方針で望むか。  |
|       |      | 3. 保育問題について   | (1) 臨時の保育士があまりにも多い問題について | ①燕市の臨時の保育士の平均年収はいくらか。<br>正規職員との差はどれくらいあるのか。<br>②臨時の保育士を正規の職員に格上げをはかることを求めるがどうか。   |

| 発言の順序 | 発言者   | 質問項目<br>(大項目)     | 質問要旨<br>(中項目)                         | 具体的な内容<br>(小項目)  |
|-------|-------|-------------------|---------------------------------------|--|
| 3     | 樋浦 恵美 | 1. 若者の自立、就労支援について | (1) 地域若者サポートステーション事業について              | <p>①燕市では、平成 22 年 10 月より三条地域若者サポートステーションからの出張相談を毎週火曜日、また、平成 24 年から毎月第 2・4 火曜日にカフェコーナー・しゃべり場を、勤労青少年ホームで行っている。平成 24 年度の利用状況はどうか。</p> <p>②吉田地区や分水地区に、出張相談を開設する考えはあるのか。</p> <p>③地域若者サポートステーションの支援は、施設を訪れた若者が基本であるため、引きこもりの人への支援が困難であると思われる。<br/>また、高校中退者や不登校になっている在学学生などへの支援について、燕市としてどのように対応されていくのか。</p>   |
|       |       | 2. 健康対策について       | (1) 歯科保健事業について                        | <p>①新潟県は子どものむし歯が日本一少なく、12 歳児一人平均むし歯数は 0.80 本と言われている。平成 25 年 3 月に策定された第 2 次燕市健康増進計画の中にも、歯科保健事業の行動計画として、全中学校にフッ化物洗口を実施するなどの目標が掲げられているが、燕市の現状としてはどうか。</p> <p>②よく噛んで食べることは、早食いを防止し、肥満の解消・予防につながり、よく噛む習慣を子どもの頃から身につけることが大切だと言われている。<br/>口腔ケアについて、保育園や幼稚園、小学校ではどのような取り組みをされているのか。</p> <p>③『6 歳臼歯』と呼ばれる第 1 大臼歯は、噛む力が一番強く、乳歯から永久歯への生え変わりの重要な歯で、むし歯になりやすいと言われている。<br/>一生使っていく大切な歯である、ということを入学前説明会等で保護者の方から知ってもらうことが大切であると思うが、市の考えを伺う。</p> |
|       |       | 3. 市道路線の安全対策について  | (1) 市道吉田東栄町 5 号線、43 号線に接続する吉田東通り線について | <p>①旧吉田南小学校跡地に、きららおひさま保育園の開園に合わせ整備された吉田東栄町 43 号線に接続する吉田東通り線は、通園されている保護者の方から、横断する際非常に危険であるとの声を聞いている。<br/>市としてどう対応されていくのか。</p> <p>②今後、グランド部分は住宅地として造成されることから、交通量も増え、安全対策を講じていく必要があると思うが、どのように考えているのか。</p>  |

| 発言の順序 | 発言者              | 質問項目<br>(大項目)         | 質問要旨<br>(中項目)                          | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|------------------|-----------------------|--|---|
| 4     | 小林由明<br>(一問一答方式) | 1. 住民個々の、能力の向上と発揮について | (1) 住民のキャリアアップ、スキルアップの支援について           | <p>①産業のまち燕市においては、その産業活性化とまち全体の発展を図るために、住民への積極的なキャリアアップ、スキルアップ支援を行い、住民個々の能力を高める必要があると考えているが、市はどのように考え、どのような取り組みを行っているか。</p> <p>②商工振興課において、中小企業者に対して、研修受講料補助を行っているが、具体的にどのような成果があり、事業主からの研修内容に対する評価はどうか。</p> <p>③燕市内の事業者は、ほとんどが中小企業であり、研修受講料助成制度の対象となっている。より多くの事業者が研修を受講することは、より多くの住民のキャリアアップ、スキルアップにつながる。今後も、より多くの事業者が研修を受講したくなる取り組みをすべきと思うが、いかがお考えか。</p> <p>④研修を行った事業主へのアンケートを行い、研修内容や成果の事例紹介などをまとめ、PRしていくことで、研修への関心が高まり、研修に参加する事業主も増えるのではないか。</p> <p>⑤現在行われている研修の中で人気の高いものを、生涯学習、社会教育の取り組みでも行ってはどうか。また、研修受講料補助の対象となっているのは市内事業者だが、市で研修に参加できる枠を設け、市外事業所に勤める市民など、広く市民全体についても、研修に参加出来る機会を設けていただきたいがいかがか。</p> |
|       |                  |                       | (2) 指定管理者制度導入等、民間活力導入の今後と、市内事業者の育成について | <p>①燕市においても、指定管理者制度の導入が進んでいるが、今後どういった業務を民間に任せて行こうと考えているのか伺いたい。</p> <p>②民間活力を導入する業務について、情報を公開して事業者に意識をもってもらい、行政として事業者の育成に力を注いでほしいがいかがか。</p>  |
|       |                  | 2. 市長の政治姿勢について        | (1) 市長の目指す「政策集団」について                   | <p>①市長の目指す政策集団とは</p> <p>②昨年今年と立て続けに行われた、指定管理者制度の新たな導入について、制度導入を検討することとなった理由として説明された内容は、職員の能力への住民の不信感を招きかねないものだったのではないかと心配している。</p> <p>今後、市長がおっしゃられる政策集団になり得たとしても、それが果たして、住民が求める成果を発揮できる集団となりえるのか、その確信と方策を伺う。</p>  |
|       |                  |                       | (2) 職員の能力発揮について                        | <p>①役職や部局等に関わらず、職員によるアイデアや施策の提案が活発に行われるべきと考えるがいかがか。そのための取り組みがあれば伺いたい。</p> <p>②職員が普段、どういったアイデアや施策を提案しているのか、公開してはどうか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>   |

| 発言の順序                 | 発言する議員                    | 質問項目(大項目)  | 質問要旨(中項目)                          | 具体的な内容(小項目)  |
|-----------------------|---------------------------|--|------------------------------------|--|
| 4                     | 小林由明<br>(一問一答方式)          |  |                                    | ③提案のない職員や、提案内容の優劣によって、減給降格及び、昇給昇格等の評価の対象となっているか。その基準はあるか。  |
|                       |                           | 3. さらに親しみやすい市役所へ   | (1) 職員の接遇、電話対応について                 | ①名前を名乗る、電話は優しく切る、優しさをもって住民に接し、一步踏み込んで住民の意を汲み上げ、住民が満足するコミュニケーションを心がけるなど、この際徹底していただきたいがいかがか。   |
|                       |                           |  | (2) 職員の接遇に対する住民の声について              | ①職員の接遇に対する住民の声を汲み上げるため、庁舎出入り口等にアンケート用紙を置いておき、アンケート内容を公開してはどうか。   |
|                       |                           |  | (3) 市役所の開庁時間等について                  | ①平日の開庁時間の延長と、土日の開庁を行えないか。  |
|                       |                           | 4. 情報政策について  | (1) 目の不自由な方、耳の不自由な方などへの行政情報の伝達について | ①視聴覚障がいを持っている方などへの行政情報の伝達も、健常者が受け取る情報と同様の情報量が伝達されるべきと思う。<br>市はどのように考え、どのような取り組みを行っているか。<br>②音声訳を行う者の確保について、市は積極的に取り組むべきではないか。<br>③読み聞かせボランティアなどにも協力を依頼してはどうか。<br>④燕の未来を考える「つばめ若者会議」の情報は、視聴覚障がいを持つ方などへも伝わっているか。<br>また障がいを持つ方の参加はあったか。 |
| 5. 伝統行事・芸能とまちの活性化について | (1) 市内各地の伝統行事・芸能の保全振興について | ①永年行われている、地域の生活に密着した伝統行事は、文化財指定がなされていようがないが、日本古来の精神や風習を伝える、かけがえのない文化的財産であり、その活性化は、地域内外住民の結びつきを強めると共に、地域全体の活性化につながる、まちづくりの極めて重要な要素である。<br>伝統行事の保全振興について、市の基本的姿勢を伺う。<br>②伝統行事・芸能の保全振興について、市はどのような取り組みを行っているか。<br>③文化財指定を受けていないが、永年続けられている地域の伝統行事・芸能の保全振興のために、助成金支給などの支援ができないか。 |                                    |  |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言者              | 質問項目(大項目)   | 質問要旨(中項目)                                       | 具体的な内容(小項目)  |
|-------|------------------|-------------|---|--|
| 4     | 小林由明<br>(一問一答方式) |             |   | <p>④燕戸隠神社の春季例大祭において、地元住民と市民の参加者で運営されている、萬燈と呼ばれる山車が登場するが、この山車は高さが約6メートル、幅約5メートルほどある。</p> <p>以前は今よりずっと高かったと言われ、東は三条の瑞雲橋から、西は吉田の大保小路からも見えたといわれているが、電線電話線等の設置など街並みの変化によって、現在の高さになっている。</p> <p>地域風土の中で生まれた、200年近く続くと言われる萬燈が、今後、変わらぬ姿で安全に運行でき、電話線を切断するなど住民に迷惑をかけなくて済むよう、電話線等の道路上の設置物に、高さ規制をかけるなどしていただきたいがいかがか。</p> |
|       |                  |             | (2) 伝統行事とまちの活性化について                             | <p>①市内各地の伝統行事を観光資源として捉えているか。また、伝統行事とまちの活性化を結びつけた取り組みは考えられないか。</p> <p>②伝統行事の開催場所に市民スペースを設置し、訪れる方へ当該伝統行事の説明や観光情報のPRを行ったり、休憩所などとしての利用は考えられないか。</p> <p>③市内伝統芸能、行事が一堂に会した、郷土芸能発表会のようなものを開催し、つばめるしえとのコラボは考えられないか。</p>  |
| 5     | 田辺博              | 1. 福祉問題について | (1) 地域包括支援センターについて                              | <p>①地域包括支援センターそのものを知らない市民が多いと思う。燕市では高齢者の単身世帯が1,684世帯で、また高齢者夫婦世帯は2,567世帯であります。将来に不安を抱えておられる市民が多い現実の中、もっと市民の中にとけこんでいき、不安を解消すべきだと思うが。</p>   |
|       |                  |             | (2) 安価で自分の年金で入れる福祉施設の建設について                     | <p>①高齢者も経済状況の悪い中、自分に何かあった場合、家族・親戚に迷惑がかかるのではと心配されています。自分の年金で、誰でも入れる安価な施設を造るべきと思うが。</p>  |
|       |                  | 2. 建設問題について | (1) 地域の代表である自治会長からの要請で行政が行うべき維持改善又は環境整備の進捗率について | <p>①市民と行政が対話を通して、お互いの立場を理解・尊重し合う事が協働のまちづくりだと思う。地域住民の要望に応えるためにも、維持管理費を増額すべきだと思うが。</p>   |
|       |                  |             | (2) 旧新潟交通電鉄跡地整備について                             | <p>①平成5年に燕～月潟間が廃止し、跡地利用について旧燕市議会で議論し結果が出ているはずである。しかし、その後約20年が経過しているが、未だ完了していない。その理由は。</p>  |

| 発言の順序 | 発言者  | 質問項目<br>(大項目)     | 質問要旨<br>(中項目)                         | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|------|-------------------|---------------------------------------|---|
| 6     | 渡邊雄三 | 1. 環境問題について       | (1) 今年4月1日より施行された小型家電リサイクル法について。      | <p>①携帯電話やデジタルカメラなどの使用済みの小型家電に含まれるアルミニウム、貴金属、レアメタルなどの回収を進める小型家電リサイクル法が昨年8月に成立し、本年4月に施行になりました。</p> <p>1) 本市では、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>2) 小型家電の解体分別等を、障がい者福祉施設に委託し、一般企業等の就労に結びつかない方等に、就労の機会の提供や、能力向上、支援のための仕組みづくりを提案したいがどのように考えているか伺う。</p>  |
|       |      | 2. 障害者優先調達推進法について | (1) 今年4月施行された障害者優先調達推進法本市としての取り組みについて | <p>①この法律の趣旨は、障がいのある人が自立した生活を送るためには、就労によって経済的な基盤を確立することが重要です。このためには、障がい者雇用を支援するための仕組みを整えるとともに、障がい者が就労する施設等の仕事を確保し、その経営基盤を強化することも必要です。</p> <p>この、法律のポイントとして、国、独立行政法人及び地方公共団体等は、物品等の調達に当たって、優先的に障がい者就労施設等から物品等を調達するよう努めるとともに、それを実効あるものとするために、以下の取り組みを行うとある。</p> <p>地方公共団体及び地方独立行政法人は、毎年度、障がい者就労施設等から物品等を調達するよう努めるとともに、当該年度の終了後、調達の実績を公表する。国、独立行政法人等は、公契約について、競争参加資格を定めるに当たって法定障がい者雇用率を満たしている事業者を優先するなど、障がい者の就業を促進するために必要な措置を講ずるよう努める。</p> <p>また、地方公共団体及び地方独立行政法人は、国及び独立行政法人等の措置に準じて必要な措置を講ずるよう努めるとある。本市として、どのように取り組みされるのか伺う。</p> |
|       |      | 3. 健康・スポーツについて    | (1) 仮称)健康・スポーツ推進条例について                | <p>①本市は、平成19年3月に「健康・スポーツ都市」を宣言し、スポーツを通じた健康づくりを推進してきた。平成24年度には、平成18年改訂された、スポーツ振興基本計画を参考にした、平成33年までの燕市独自のスポーツ推進計画が発表された。</p> <p>また、燕市健康推進計画が発表され、市民の健康への道筋は出来たように思われますが、それらの計画がより実効性のあるものにするために、条例の制定が必要と思うが考えを伺う。</p>  |



| 発言の順序 | 発言者      | 質問項目<br>(大項目)   | 質問要旨<br>(中項目)                                     | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|----------|-----------------|---|---|
| 7     | 中島<br>義和 | 1. 人口問題<br>について | (1) 合併から<br>現在に至る<br>までの人口<br>動態並びに<br>対策につい<br>て | ①これからも燕市だけに限らず少子高齢化が進み、全国で284,000人、県内で15,000人、燕市では合併後これまで2,118人の人口減少となっている。この実態をどのように認識しておられるか伺う。<br>②今後の人口減少の流れのなか、若年人口、生産人口、高齢人口の推移を伺う。   |
|       |          |                 | (2) 定住促進<br>まちなか支<br>援事業につ<br>いて                  | ①他の地域への移住、人口流失対策として、昨年度から3ヶ年継続事業として「定住促進まちなか支援事業」に取り組んできたが、3地区への定住割合並びに年齢割合、新規希望者等の状況について伺う。  |
|       |          |                 | (3) 空き家、<br>空き地活用<br>バンクにつ<br>いて                  | ①燕市空き家等の適正管理及びまちなか居住促進に関する条例、平成25年4月1日公布、平成25年7月1日施行と条例の可決、空き家数2,730件と空き地の事前調査が実施されているが現状を伺う。<br>②活用バンクの取り組み2年目に入ったが今後は登録数の増大に繋がっていくだろうが、昨年の所有者と物件活用希望者間の売買、賃貸交渉、契約状況を伺う。   |
|       |          | 2. 生活保護<br>について | (1) 保護費の<br>支給状況に<br>ついて                          | ①生活保護の中には生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助、その他とあるが24年度までのデータを伺う。<br>母子家庭、父子家庭の該当者はどんな状況か伺う。<br>②若年世代で勤務先の倒産、雇い止め、病気等でやむを得ず生活保護申請に頼らざるを得ない世帯が増加している。その人達、家族へのサポート体制はどのように対処しておられるか伺う。<br>③少子高齢化、独居老人世帯の増加している現在、それに伴い扶助費増加が見込まれるが、どのようにとらえておられるか伺う。 |
|       |          | 3. 環境整備<br>について | (1) 墓地造成<br>事業につい<br>て                            | ①以前、民間業者による墓地霊園建設計画があったが、いろいろな法令のクリアができずに建設計画が立ち消えとなった。市民の間では多くの人達が墓地建設用地を求めておられる。25年度予算で測量業務委託料300万円計上されているが、完成はいつか伺う。   |
|       |          | 4. 農業問題<br>について | (1) 環太平洋<br>連携協定<br>TPPについ<br>て                   | ①民主党の菅政権時、突然アメリカに対し国を開くとTPP交渉参加表明され農業団体から反対の大合唱があがりましたが、7月の交渉会議には参加可能かと報じられております。燕市の基幹産業でもある農家への情報発信が大切かと思うがいかがか。   |
|       |          |                 | (2) 人、農地<br>プランにつ<br>いて                           | ①燕市における農業従事者の高齢化が進んでいる世代別年齢割合を伺う。<br>現在当市における新規就農支援事業に該当する新規就農者は、どんな状況か伺う。<br>②燕市の青年就農給付金の実態について伺う。<br>準備型と経営開始型についても伺う。<br>③農地集積に対し人、農地プランのなかで「農地の出し手」、「受け手」に対して経営転換協力金の名称で、支援金支給となっているが、燕市の取り組み状況について伺う。                                |

| 発言の順序 | 発言者             | 質問項目<br>(大項目)  | 質問要旨<br>(中項目)          | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|-----------------|----------------|------------------------|---|
| 8     | 土田昇<br>(一問一答方式) | 1. 市長の政治姿勢について | (1) 柏崎刈羽原発の今後の課題について   | <p>① 3月の定例議会でも発言いたしました。泉田新潟県知事は福島第一原発の事故の検証なしに柏崎刈羽原発の再稼働の議論はできないとの立場を明確にして県議会の中で答弁しています。</p> <p>市長も過去に同じような答弁を繰り返されていますが、新潟県知事はさらに、原子力規制委員会が7月にも導入する予定の「新安全基準、新たな規制基準」に対しても、福島第一原発の事故の検証、総括をふまえて策定される必要がある。事故の検証がないままに策定されるとすれば、その基準に正当性はなく、「原子力発電所の安全を確保することにはならないと考えている」と批判的な姿勢を示し、そこまで発言していますが、柏崎刈羽原発の再稼働の認識について再度市長に伺う。</p> <p>② 柏崎刈羽原子力発電所に係る住民の安全確保に関する協定書の第一条には、原則として原子力発電所連絡会を設置し、定期的を開催するものとする。さらに協議の上、臨時の連絡会を開催できるものとする。とされていますが、定期的、臨時の開催についてどうなっているか伺う、と同時に今後の予定についても、また、協定書の内容についても伺う。</p> |
|       |                 |                | (2) 浄水場汚泥の現状と今後の対応について | <p>① 5月20日の新潟日報の報道によれば県内セシウム汚泥56,000トンと報道されているが、燕市の現状と今後の対応について伺う。</p> <p>② 現在まで管理費としてどのような費用がかかっているのか、その費用に対する対応はどうなっているのか、今後どうするのか伺う。</p>   |
|       |                 |                | (3) 県央基幹病院の課題について      | <p>① 5月16日の午後に県央基幹病院基本構想策定委員会が開かれたと報道されましたが、その内容については、これまでのあり方検討委員会などで500床、医師80人程度の規模で、公設民営の方向が示されたとして、次回は7月か8月に具体的な機能、規模をはじめとする踏み込んだ議論を行い、10月までには開催予定の第3回委員会で基本構想を提示して、年内の第4回委員会で基本構想案を取りまとめるとしている。県は関係5市町村と調整を図り、5市町村との調整について、県及び市は市町村民に対して中間報告を説明する責任があると考えているが、その対応についてどのように考えているか伺う。</p> <p>② 設置場所については、議論しないとしていますので、対象地域の合意形成が当然必要になってくるし、県が主導的に判断するべきと考えていますが、その条件として必ず中間報告を求めていくべきと思いますが、考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>  |

| 発言の順序     | 発言者             | 質問項目(大項目)   | 質問要旨(中項目)                      | 具体的な内容(小項目)  |
|-----------|-----------------|---|--------------------------------|--|
| 8         | 土田昇<br>(一問一答方式) |   | (4) 国土交通省の平成25年度予算の内容について      | ①燕市に關係する予算の説明について伺います。<br>直轄国道交通安全<br>・国道116号分水地区事故対策3,600万円<br>・国道116号吉田下中野地区自転車歩行者道整備2億2,200万円<br>・国道116号法花堂自転車、歩行者道整備1億1,400万円<br>過去の経過と今後の工事予定の内容について伺う。<br>②河川事業について<br>原案では大河津分水路について「洪水処理を担う分水路の改修を優先的に進める」と報道されているが、信濃川下流河川改修の38億200万円の内容についてどのような状況になっていくのか、現在の状況でよいので伺う。 |
|           |                 |   | (5) 人口減少対策について                 | ①2010年の燕市の人口が81,876人と報道されているが、2040年には62,613人になると推計されているが、今後市として人口減少対策についてどのような対策を考えているか伺う。   |
| 9         | 齋藤紀美江           | 1. ユニバーサルデザインの取り組みについて  | (1) 行政運営におけるユニバーサルデザインの考え方について | ①ユニバーサルデザインについては承知されていると思うが、新庁舎の整備において業者にそのような観点で話し合ったことはあるのか。<br>②新庁舎の案内サインがわかりにくいと思うがどうか。<br>③新庁舎には様々な不都合を市民から指摘されている。仕事をするうえで、不都合があるというような職員からの指摘はあったのか。  |
|           |                 |   | (2) 学校でのユニバーサルデザインの考え方について     | ①学校運営で、ユニバーサルデザインの考え方を持っているのかどうか。  |
|           |                 | 2. 障がい児・者の居場所等の支援について   | (1) 障がい児・者の実態把握とその対応について       | ①いま、様々な障がいについて理解が広がってきており、軽微な障がいについても認識されるようになってきた。実態を知り、必要な支援策をしていく必要があるように思う。実態把握とその対応について。  |
|           |                 |   | (2) 法律の変更に伴う対応について             | ①障がい者自立支援法が改正になり、総合支援法になった。<br>市町村がやるべき地域生活支援事業の必須事業の対応について。   |
| 3. 表彰について | (1) 表彰規定について    | ①市民の長年の活動に対して表彰されているが、寄付金や公の仕事への委嘱等での協力であったりしているように思う。表彰規定はどうなっているのか。 |                                |  |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言者   | 質問項目<br>(大項目)        | 質問要旨<br>(中項目)                  | 具体的な内容<br>(小項目)  |
|-------|-------|----------------------|--------------------------------|--|
| 9     | 齋藤紀美江 |                      | (2) 自主的ボランティアの長年の活動に対しての表彰について | ①自主的なボランティア活動は大事なものと思うが、それに対しては表彰されていないように思うがどうか。  |
|       |       | 4. 非核平和都市宣言の取り組みについて | (1) 非核平和都市宣言の重要性の認識について        | ①非核平和都市宣言をどのように考えているのか。<br>②新庁舎に非核平和都市宣言塔を設置する考えは。   |
|       |       |                      | (2) 非核平和の理念を広める活動について          | ①中学生を広島に派遣して非核平和を学んでもらっているが、もっと市民にも非核平和について理解を深めてもらう必要があると思う。パネル展だけで終わらせないで、もっと多様な取り組みが必要と思うがどうか。  |
| 10    | 齋藤信行  | 1. 治水・排水対策について       | (1) 大河津分水路計画について               | ①新可動堰の通水により洪水の処理能力の向上が本市及び地元住民はもちろん、下流域沿線住民の安心・安全度がさらに向上したことと思います。今後の国直轄事業について、進捗状況並びに今後の見通しについて伺う。<br>②旧可動堰の所について、今後どのようなになるのか伺う。<br>また、市の方でどのような利用が公園とのマッチングで出来ることがあるのか、考えを伺う。 |
|       |       |                      | (2) 井土巻地区の排水対策について             | ①中ノロ川の弱堤部対策について伺う。<br>②豪雨のたびに交通止めをしなければならないほどの道路冠水が起きる。イオン周辺の対策はどの程度の雨であればよい状況なのか、また今後の対策について伺う。<br>③ガード下の道路について、どの程度の雨量までよいのか、ポンプの能力について伺う。                                     |
|       |       | 2. 市循環バス・デマンド交通について  | (1) 市循環バスについて                  | ①市のバスについては、新しい交通体形になって利用者からいろんな面で、どのような意見が出ているのか伺う。  |
|       |       |                      | (2) デマンド交通について                 | ①デマンド交通利用者から、どのような意見が出ているのか伺う。   |
|       |       | 3. 新庁舎について           | (1) 市民の対応について                  | ①新庁舎について、市民から利用についてはどのような意見があったのか伺う。<br>②燕・分水のサービスコーナーについて、市民よりどのような意見があったのか伺う。  |
|       |       |                      | (2) 市職員について                    | ①市職員については新庁舎になって、使い勝手などで感じたこと、例えばこの方が良かった、こうすれば良かったなど、今後のことについて伺う。<br>(次ページへ続く)  |

| 発言の順序 | 発言者   | 質問項目<br>(大項目)         | 質問要旨<br>(中項目)          | 具体的な内容<br>(小項目)  |
|-------|-------|-----------------------|------------------------|--|
| 10    | 齋藤 信行 | 4. 新教育長に燕市に来て感じた事について | (1) 教育立市宣言について         | ①燕市では、教育立市宣言をし、教育については全市を上げて取り組んでいるところです。教育長は教育のハード面、ソフト面などを含めどのように感じられたか伺う。   |
|       |       |                       | (2) 教育長の教育に対する思いについて   | ①教育長の燕市の子どもたちへの教育に対する思いについて、どのように考えているか伺う。   |
|       |       |                       | (3) 学校の地域性について         | ①燕市では学校によっては、地域独自の授業などもあり、その地域の歴史など(例えば分水北小の大河津分水路)の取り組みなどあるが、教育長は地域性を活かす授業などにはどのように取り組んで行くのか伺う。   |
| 11    | 山崎 雅男 | 1. 農業問題について           | (1) 本市の実態について          | ①本市の農業問題の実態、担い手の農地集積の現状認識、農地・農作業の受委託の実態について伺う。<br>②遊休農地にカウントされない遊休農地(保全管理・耕作放棄地等)の実態について伺う。  |
|       |       |                       | (2) 農業者意向調査(アンケート)について | ①人・農地プランの促進として、農地面的集積促進事業費補助金 550 万円充当。過日農業者意向調査(アンケート調査)を実施したが調査内容と捉え方を伺う。<br>②農地集積の円滑な推進をするには、集落地域における徹底した話し合いと受け手の中心である経営体の合意が必要不可欠である。人・農地プラン作成状況と作成を推進する周知計画について伺う。<br>③農業生産組織や認定農業者等が受け手の中心となりえる経営体として考えられるが、当事者と市の捉え方はどうなのか伺う。<br>④若者や女性の就農実態等、本市の農業従事の現状についてと活力ある農業についての捉え方について伺う。 |
|       |       |                       | (3) 青年就農給付金事業について      | ①今年度 300 万円充当した青年就農給付金事業。2012 年度から新規事業として農水省は「青年就農給付金制度」をスタートして反響を呼んでいるが、この施策の概要と本市の対応策を伺う。  |
|       |       |                       | (4) がんばる農家支援事業について     | ①新潟市は平成 23 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの期間に、意欲を持って農業を行うものを「がんばる農家」と規定し、本事業により農業所得の向上を図るための規模拡大・農産物の付加価値向上、経営の複合化への取り組みに対し支援を行っている。がんばる農家支援事業費補助金として、水田農業・園芸・畜産の経営発展、環境保全型農業等の取り組みに対し支援を行っているが、新潟市の「がんばる農家支援」に対しての捉え方と本市として意欲を持って農業を行う就農者に支援することはできないか見解を伺う。                               |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発 言 者    | 質問項目<br>(大項目)  | 質問要旨<br>(中項目)              | 具 体 的 な 内 容<br>(小 項 目)  |
|-------|----------|----------------|----------------------------|---|
| 11    | 山崎<br>雅男 | 2. 防災について      | (1) 自主防災組織の運営・活動について       | ① 平時の防災訓練をはじめとする組織の充実や継続的な防災・減災活動としての安全・安心なまちづくりが期待されている。自主防災組織の運営・活動において高齢化や活動要員・リーダー不足や活動に対する地域住民意識不足等が指摘されているが見解を伺う。<br>② 防災活動が真に自主的・主体的な感じが否めないが、地域住民への防災思想・知識の普及をきめ細かく行わない中で、自主防災組織率・組織化を急ぎ、希薄化が感じられるが見解と今後の取り組み方向性を伺う。<br>③ 災害時には、弱者が犠牲になりがちであるが、災害弱者への具体的な救助・移動支援、日頃からの情報収集等や独居、高齢者世帯のひきこもりの方への支援体制について伺う。 |
|       |          | 3. 緊急時放送について   | (1) 緊急時FMラジオ活用について         | ① 緊急告知FMラジオの障がい者、避難所、介護保険サービス事業等の配備実態と市民に対しての販売状況と機能について伺う。<br>② 災害発生時に災害関連情報が迅速にできるような燕・三条エフエム放送との具体的な連携、体制内容について伺う。   |
|       |          |                | (2) 緊急性・重要性の規律内容について       | ① 災害時に適切な放送時期や内容の検討も重要かと思われるが、市・警察・消防署からのお知らせ情報が多く寄せられてくると思われるが、緊急性・重要性の規律内容について伺う。更に市民からの情報提供も重要かと思うが、捉え方はどうなのか伺う。   |
| 12    | 埜 豊      | 1. 行財政改革について   | (1) 人事評価システムについて           | ① 人事評価システムの現状について<br>② 人事評価が理事者（管理者）側、職員側それぞれにとって有効に機能しているか。<br>③ 今後の問題点と課題について   |
|       |          |                | (2) 行政のスリム化と適正人員について       | ① 今後ますます厳しさを増す財政状況と適正人員配置について<br>② 外部委託の可能性と範囲について  |
|       |          |                | (3) 財政運営について               | ① 交付税の一本算定など、厳しさを増す資金面で現在積み増しを図っている減債基金をどれ位積み増すのか。<br>② 今後予定されている旧燕庁舎の取り壊しなど、一般財源に大きな影響がある事業と起債償還との関係について   |
|       |          | 2. 燕市の都市計画について | (1) 衰退の途をたどる「まちなか」への対応について | ① まちなかにぎわい創出事業や、定住化促進事業などの対応で充分なのか。<br>② 現在の都市計画マスタープランに「まちなか活性化」をキーワードに再構築すべきではないか。  |
|       |          | 3. 教育問題について    | (1) 学力向上について               | ① 小、中学校の連携について。「九・九」や分数の割り算、かけ算がなぜか中学生になると忘れていたことは。<br>② 部活動重視の中学校の姿勢について。<br>③ 家庭教育と学校教育のさらなる連携強化のためには。  |

| 発言の順序 | 発言者   | 質問項目<br>(大項目)          | 質問要旨<br>(中項目)         | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|-------|------------------------|-----------------------|---|
| 13    | 渡邊 広宣 | 1. 産業政策について            | (1) 各種補助金について         | ①販路開拓事業、商店街活性化事業、新商品新技術開発支援事業補助金の直近3ヶ年の件数と合計補助金額について伺う。<br>②同一事業者が複数年受けている事例は何件で、その金額について伺う。<br>③直近3ヶ年以前で同制度を利用した製品等の現状を伺う。 |
|       |       | 2. 指定管理者制度について         | (1) 指定管理者導入施設数について    | ①市内全公共施設数と導入数について伺う。<br>②導入前と後で経費、特に人件費の推移を伺う。<br>③正規、臨時を問わず、施設の人員に変化があったか伺う。   |
|       |       |                        | (2) 今後導入を予定している施設について | ①体育施設以外で導入が検討されているか伺う。<br>②導入予定されている体育施設での昼間需要者数はどの程度把握されているか伺う。<br>③体育施設への制度導入後の各種既存団体（体育協会、総合型スポーツクラブ等）との関係について伺う。        |
|       |       | 3. 燕市の教育像について          | (1) 児童・生徒の学力について      | ①教育立市宣言以来の児童・生徒の学力の推移について伺う。<br>②授業に臨む、児童・生徒たちの態度について伺う。<br>③義務教育以降の燕市在住の生徒の学力等を捕捉されているか伺う。                                 |
|       |       |                        | (2) 今後のあるべき教育について     | ①教育の充実は、垣根・領域を越えて一貫性を持って行われるべきと考えるが所見を伺う。<br>②特色ある施策を実施・実践されているが、燕市の確立した（年々改善されるべきだが）教育像を策定すべきと思うが所見を伺う。                    |
|       |       | 4. てまりの湯を含む施設の有効活用について | (1) 複合施設及び施設利用について    | ①年間多数利用されている施設を有効活用するため、健康増進を兼ねた施設整備はできないか伺う。   |
|       |       |                        | (2) 指定管理者制度の導入について    | ①この施設ほど、この制度を導入すべきだが、検討されているか伺う。  |

| 発言の順序 | 発する議員              | 質問項目<br>(大項目)    | 質問要旨<br>(中項目)                       | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|--------------------|------------------|-------------------------------------|---|
| 14    | タナカ・キン<br>(一問一答方式) | 1. データの取り方について   | (1) 第2次燕市健康増進計画「磨け！輝け！元気プランつばめ」について | <p>①この中の健康診断・がん検診の説明にある〈目標値・期待値〉の表である。<br/>子宮がん検診（頸部）の受診率は平成19年度は実績が69.7%で24年度は50.4%で、29年度の目標値・期待値が75.0%以上である。この受診率の算出方法が異なっているという。3月定例会における「増進計画」の案の説明時に、こういうことを議員に説明しなかったのはなぜか？</p> <p>②算出方法が異なっているデータを比較することはおかしいと思うが、なぜか？</p>   |
|       |                    |                  | (2) 新潟県100の指標というデータブックについて          | <p>①県内30市町村の様々なデータが集められて順位がつけられ、また県の平均値も載せてある。<br/>子宮がん検診（頸部）・胃がん検診の受診率は、燕市は毎年20市中トップである。平成22年度の子宮がん検診（頸部）の受診率は30市町村のトップで62.5%である。<br/>県の平均が9.9%で、三条市が10.5%、加茂市が19%長岡市6.5%、新潟市6.3%なのである。<br/>胃がん検診の受診率も、20市ではトップで55.7%、県平均が21%で、三条市24.6%、加茂市25.7%となっている。燕市と他市の算出方法は同じなのかどうか？</p>  |
|       |                    | 2. 子宮頸がんワクチンについて | (1) ワクチン接種・保護者への案内について              | <p>①文書の中に「日本では年間15,000人が発症し、約3,500人が亡くなっています。近年、20代や30代の若者層で増加傾向にあります。」という表現がある。保護者の恐怖心をあおるような文章が適切だとは思わないが、どうなのか。</p> <p>②市からの案内なら市民は頭から信じてしまうが、この年間3,500人が死亡しているというのは、どの資料からのものか。</p> <p>③燕市ではこの10年間、子宮頸がんが死亡した20代30代の女性は何人いるのか。</p> <p>④副反応について明記されていない理由について。</p> <p>⑤救済制度についても明記されていないのはなぜか。</p> <p>⑥保護者は4月中に2回目の案内が届き、接種をせかされていると感じたと話をしている。2回目の案内を発送した理由について。</p> <p>⑦これまでの接種者数、接種率について。</p> |
|       |                    |                  | (2) ワクチン接種による健康被害について               | <p>①テレビや新聞でも報道されているが、市の見解について。</p> <p>②これまでに厚労省に報告されている人数について。又、重篤なもの・死亡した人数について。</p> <p>③市内で副反応の症状があらわれたという報告はあるのか。</p> <p>④県内でも重い副反応による被害者が出ている。燕市で被害者が出た時の対応について。</p> <p>⑤3月25日には都内で「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会」が設立されている。被害を訴える相談は5月末までで身元が確認できているのが60件、確認できていないのが480件にのぼっている。実態調査のため、厚労省や連絡会に職員を派遣してはどうか。</p>  |



| 発言の順序 | 発言者               | 質問項目<br>(大項目) | 質問要旨<br>(中項目)                  | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|-------------------|---------------|--------------------------------|---|
| 15    | 中山 眞二<br>(一問一答方式) | 1. 都市整備について   | (1) 県央地域の公共下水の整備について           | ①燕市の顔、玄関口となっている県央地区の公共下水が遅れているのはどういう理由か。<br>②隣接する三条市との話し合いはしているのか。<br>③飲食店も多く雑排水も多いと思うが、排水の汚染状況はどのようになっているのか。<br>④今後の全体整備と老朽化してきた処理場の改修について、料金体系も含めて見通しはどのようになっているのか。                           |
|       |                   |               | (2) 仮称) 朝日大橋の進捗状況と周辺の整備について    | ①進捗状況と完成予定はどのようになっているのか。<br>②南町側、また日之出町側の住民からの周辺の整備について要望は出ているのか、またその要望にどう対処しているのか。<br>③完成後の交通状況、道路の延長、まちづくりの広がりなどをどのように考えているのか。  |
|       |                   |               | (3) 下水の泥上げについて                 | ①自治会のない地域、とりわけ企業団地での周知方法は進んでいるのか。<br>②地先に責任のある人のいない場所の清掃はどのようにしていくのか。   |
|       |                   | 2. 体育館について    | (1) 市民体育館改修事業について              | ①耐震補強の改修工事と聞くが、具体的にどのような改修か、また、改修に当たって利用者の要望を聞いているのか。<br>②改修中の利用制限を利用者に説明はしているのか。<br>③災害時の避難拠点となっているが、事務所やミーティングルームはどのような使われ方をするのか。<br>④指定管理される方向にあるが、災害時において指定管理者と防災課はどのように関連していくのか。           |
|       |                   | 3. 認知症の予防について | (1) お年寄りの憩いの場づくりについて           | ①一人暮らしの世帯が増え、家から出ないお年寄りが認知症になりやすく、また進行も進みやすいと聞くが、歩いて行ける範囲に集まれる施設が不足している地域の要望にどう答えていくのか。<br>②国の持ち物であった井土巻地区にある食糧事務所は、解体される方向にあり、土地の所有者である市はその建物をもらいたいと要望していたと聞く。憩いの場、防災の拠点としての活用ができると思うがどうなったのか。 |
|       |                   | 4. 産業について     | (1) アベノミクスが及ぼす影響と地場産業の景気動向について | ①円安が地場産業にどのように影響しているか、また地場産業の景況状況はどのようになっているのか。   |
|       |                   |               | (2) 職人がいなくなりそうな状況について          | ①洋食器産業において、今取り上げられているコバ研磨の職人だけでなく、製造においても自動機をセットできる職人、彫金師、金型をセットできる職人、鍛造などナイフを作る職人がいなくなりつつある現状を、どのように認識し、今後の対策をどのように考えているのか。  |

| 発言の順序         | 発言者                          | 質問項目<br>(大項目)  | 質問要旨<br>(中項目)       | 具体的な内容<br>(小項目)  |
|---------------|------------------------------|--|---------------------|--|
| 16            | 丸山吉郎                         | 1. 少子化対策について   | (1) 子供を増やすための対策について | <p>①一口に少子化対策といっても育児支援と出生促進は似て非なるものと考えます。市としてはどちらに重点を置いた政策を取っているのか、取ろうとしているのか。</p> <p>②燕市の平成27年目標人口80,000人、推定人口78,736人と総合計画に記載されているが、数字を変更する考えはないか。また子供の出生率はどの様に変化すると推定されているか。</p> <p>③育児支援として3世代家族同居を税制面で優遇する等の対策は考えられないか。福井県は3世代家族が多いことで知られている。祖父母と同居は、少子化の一つの解決方法と思われるがどうか。</p> <p>④結婚しない人は、これから確実に増える。生涯未婚率は70年代男女共2~3%だったが、いまや男20%、女10%国立人口問題研究所は20年後、男は30%弱、女は20%強に急増すると見ているが、それらの対策について伺う。</p> |
|               |                              | 2. 新庁舎周辺の開発について  | (1) 周辺の開発予定について     | <p>①何回も同僚議員も質問されているし、都市整備プランも理解していますが、世の中動いています。新庁舎を燕市の中心にする考えはないか。その他プランを考えられてはどうか。</p> <p>②新庁舎周辺に総合図書館、文化センター等を新たに建設するプランはないか。<br/>燕市の活性化に一番立地条件の良い場所を何にもしないのは問題ではないか。</p>   |
|               |                              |  | (2) 国道116号バイパスについて  | ①116号バイパスが未完成に終わると、建設位置の理由付けに問題が残るのではないか。バイパス貫通時の周辺計画は考えられているのか。   |
| 3. 集中豪雨対策について | (1) ゲリラ的大雨対策としての地下貯水槽の設置について | <p>①燕市全市に対し、県央地区の雨水対策用として地下貯水槽を年1ヶ所程度設置したらどうか。</p> <p>②分水新興野地区の排水は、全部大通川に排水されるようになっている。側溝等はある程度完備されているが肝心の時にすぐ大通川は満杯になり、少しの雨でも新興野地区は冠水してしまう。地下貯水槽の設置を検討していただきたいがどうか。</p> |                     |  |

| 発言の順序 | 発言者   | 質問項目<br>(大項目)                    | 質問要旨<br>(中項目)                                | 具体的な内容<br>(小項目)  |
|-------|-------|----------------------------------|--|--|
| 17    | 大原 伊一 | 1. 本市のインフラ整備の今後について              | (1) 産業を中心とした街作りを進めてきた本市の発展をにらんだ今後のインフラ整備について | <p>①国道116号線パイパスの着工並びに道路網整備に向けた取り組みについて</p> <p>②新庁舎完成とともに電話番号の市外通話番号扱いの不便さについて</p> <p>③公共下水道の進捗率と接続率について</p>  |
|       |       |                                  | (2) 戦後の老朽化した施設の更新改修について                      | ①トンネルや橋をはじめとした公の施設の老朽化が問題となっているが、本市における公の施設並びに公に準じる施設の更新改修について、市としての基本方針を作った上で今後対応していくことが重要でないのか？  |
|       |       | 2. 災害時や大雪の通学路確保などにおける農業者との連携について | (1) 農業機械の災害時における活用について                       | ①今シーズンの雪の季節においては、猛吹雪のような大きな被害はなかったものの、早朝の通学路確保に問題がなかったのかといえ、実態として通学時間帯に間に合わなかった事が見受けられたと思われる。地域の農業の持つ機械力を利用した除雪や災害時に道路が使えなくても、田畑の中を移動できるトラクター等農業機械の有効活用を考えてみてはどうか。   |
|       |       | 3. 本市農業の技術力維持と継承について             | (1) 農業就農人口の高齢化による農業技術の継承に不安が出てきている現状について     | <p>①産業の空洞化が盛んに議論された時から、中小企業が支える日本の技術力の継承が今後の重要な課題とまでいわれてきた。本市においても磨き屋一番館の設立に至っている。</p> <p>農業についても、世界でも認められている高度な農産物生産技術・食品安全性の高い食物生産など、長年培ってきた高い技術力の継承が今後大きな課題となってくると思われるが、どのように対処していくのか？</p> <p>②新政権となり農業所得倍増論が威勢よく出てきたが、現状の農業生産構造が危機的状況にありながら、さらなる構造改革で地域に根ざした農業技術を失うことで農業の崩壊を早めていく恐れを感じるが、市長の考えを伺う。</p> |

| 発言の順序 | 発言者               | 質問項目<br>(大項目)   | 質問要旨<br>(中項目)                 | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|-------------------|-----------------|-------------------------------|---|
| 18    | 長井由喜雄<br>(一問一答方式) | 1. ドクターヘリについて   | (1) ランデブーポイントの常時確保について        | ①昨年10月30日に新潟県内で初めてのドクターヘリが運行された。燕市における救急車との接続ポイントとなるランデブーポイントは、何カ所確保されているか。また市民への周知についての対応はどうか。<br>②指定された施設などに対しては、離着陸時の注意点などが徹底されているか。<br>③運行は午前8時30分から日没か午後5時30分の早い方までとされているが、この間の燕市内での要請・搬送状況についてはどうか。<br>④冬期間の離着陸では、除雪がされていなければ使えない。冬期間における対応はどうされているのか。  |
|       |                   |                 | (2) 新庁舎のヘリポートについて             | ①新庁舎屋上のヘリポートの活用はどのような場合を想定しているか。また、今冬はどう対応するのか。   |
|       |                   | 2. ホームページ情報について | (1) ホームページ情報に対する市の基本的な考え方について | ①行政情報の伝達手段として、ホームページは重要だと考える。市のホームページの情報発信・内容などについての基本的な考えを伺う。<br>②ホームページを訪れた回数を示すカウンターは表示されていないが、表示するべきでないか。また各ページやファイルの閲覧などについてもカウントされているのか。<br>③部・課によって、ホームページ情報更新に大きな差異があるのではないか。年度が変わってしばらくしても古い情報が載ったままだったり、新年度向けに更新がされていないところもある。この点についてはどう考えるのか。  |
|       |                   |                 | (2) 情報やデータの公開について             | ①できるだけ細かな情報・データも載せていくべきだと考えるが、そのためにもホームページ上で統一性のある形式で載せることが大事ではないか。また市民が活用しやすいデータ・情報の提供をするためにも、CSV方式や表が入ったものなどでも文書ファイルで載せていくようにしてはどうか。  |
|       |                   | 3. 国民健康保険について   | (1) 社会保障の観点からの国保運営について        | ①国の予算削減と国保加入者の所得減少が、国保の財政難を作り出してきた。市町村国保は国民皆保険制度の最終的受け皿となっていると考えるが、市長の認識について伺う。<br>②国保の安定運営のためには、国の負担率を1980年代の50%に戻させることが不可欠だ。市長会などでの国への要請については承知しているが、国保加入者である市民に対しても、国への要請を働きかけていくべきではないか。<br>③雇用環境のさらなる悪化、来年度からの消費税負担増などで国保加入者の平均所得がさらに下がることが見込まれる。来年度以降の被保険者負担軽減策については、どのような考えを持つか。当面は一般会計からの繰入で被保険者の下支えを行うことが必要ではないか。市長は被保険者である市民をどう守っていくか。<br>④社会保障審議会27日の医療保険部会で、国保運営を都道府県単位に移行させる方向が示された。政府の社会保障制度改革国民会議でも同様の検討がされているが、広域化は保険者の努力と独自施策に水を差す事にもなる。広域化はするべきではないと考えるが、市長の考えはどうか。 |

| 発言の順序 | 発言する議員          | 質問項目(大項目)               | 質問要旨(中項目)                              | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|-----------------|-------------------------|--|---|
| 19    | 大岩勉<br>(一問一答方式) | 1. 教育の在り方について           | (1) 自民党の教育改革提言について                     | ①小学校入学を、現行制度から1年早めて5歳児からとすることを念頭にした義務教育前倒しとの事だが、教育委員会の考えを伺う。<br>②教諭の能力向上のため、採用前に1年間のインターン(実習生)制度導入、校長や教頭など管理職登用に教職大学院の修了を要件化も検討とあるが、教育委員会の考えを伺う。  |
|       |                 |                         | (2) 学校教育の様子について                        | ①小学校・中学校の児童生徒数の推移と学力・体力の状況を伺う。<br>②虐待、貧困、孤立、不登校、障がい等、学校は今、家庭が抱えるさまざまな課題に直面しており、勉強や生徒指導ばかりでなく、教員の対応が求められているが、生徒と向き合っているか伺う。  |
|       |                 | 2. 観光とお祭りについて           | (1) 分水おいらん道中リニューアル開催について               | ①分水おいらん道中をリニューアル開催されましたが、例年以上に楽しめたのか。JR「分水夜桜号」の利用度はどうだったのか。飲食、農産加工品などの出店の売り上げはどのようだったか伺う。<br>②観光資源発掘と体験観光イベントで市内外の人的交流を広げたらどうか。他行事との合同を考え、滞在型集客力向上で盛り上げる観光振興の新企画が必要ではないか。観光客に対する案内人の育成が必要ではないか伺う。   |
|       |                 |                         | (2) お祭りの一本化と観光産業としての商品化を考えるべきではないかについて | ①単発の祭りをいくつかにまとめ、周遊型の観光資源商品化につなげ、宿泊・地元食材を使った料理や酒の振る舞い等を育む自然や文化を発信したらどうか伺う。<br>②魅力ある観光地づくりを目指す観光庁の調査事業があるが、提案された事があるか伺う。<br>③つば九郎がつばめ市鳥(長)に就任されましたが、東京ヤクルトスワローズの球団マスコットであり、全国的にアピールできる燕市としてのキャラクターマスコットを考えているのか伺う。                          |
|       |                 | 3. 再生可能エネルギー普及の推進事業について | (1) 燕子ども応援おひさまプロジェクトについて               | ①メガソーラ発電所の建設が全国で急増しています。太陽光発電・屋根貸し施設と発電事業者の推進を今後も取り組んで行うのか伺う。<br>②東京ビックサイト東展示場での太陽光発電システム施工展で燕市の取り組みを紹介されましたが、その結果を伺う。  |
|       |                 |                         | (2) 再生可能エネルギーの固定買取制度について               | ①太陽光・風力・水力・地熱それぞれ買取金額は、毎年度算定委員会で見直されます。平成24年7月1日から太陽光(1kw)42円、風力23.1円、水力25.2円、地熱27.3円を把握されているか伺う。<br>②電力会社は一定の価格、期間で再生可能エネルギーでつくられた電気の買取りが義務づけられており、電気を利用する国民(燕市民も)は、「賦課金(サーチャージ)」として電気料金の一部に負担(一部減免措置有)させられている事は把握されているか伺う。<br>(次ページへ続く) |

| 発言の順序 | 発言者              | 質問項目<br>(大項目)    | 質問要旨<br>(中項目)  | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|------------------|------------------|--|---|
| 19    | 大岩 勉<br>(一問一答方式) |                  | (3) 東北電力は家庭向け電気料金の値上げを経済産業省に申請をしています。値上げにより考えられる市民負担について                           | <p>①県は今後、手厚い電気料金補助制度を前面に出し、企業誘致の売り込みをしていく考えですが、燕市として同じような事は考えているか伺う。</p> <p>②生活保護世帯に電気料金値上げに対する補助は考えていないか。また燕市において収入が無いとの申告からの生活保護費不正受給などはないか伺う。</p>  |
| 20    | 阿部 健二            | 1. 新庁舎開庁後の市政について | <p>(1) 新庁舎は誰のものかについて</p> <p>(2) 市政の要である市の予算は、誰のものかについて</p> <p>(3) 分野横断的な企画について</p> | <p>①新庁舎開庁で吉田庁舎がなくなり、市の窓口が遠のくことへの住民の不都合や不満が今後、<sup>おびただ</sup> 夥しくなることは必定である。</p> <p>かつての市長の強引さから、田んぼの中の新庁舎もやむなしとの見解で催促し、実施してもらった市の『窓口業務の宅配サービス』の充実は、ますます求められることになると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民への『窓口業務サービス』の周知は十分になされていると思うか？</li> <li>・『窓口業務サービス』の今までの実績は？</li> <li>・そして、今後の展開の仕方は？</li> </ul> <p>②当面、国道 116 号バイパスの実現や新庁舎周辺の商業店舗開発が不可能であることを市民にキチンと発信すべきではないか？</p> <p>①企画財政部長がかわったことから、改めて「市の予算は誰のものか？」そして「何のためのものか？」についてを問いたい。</p> <p>②先般の予算審査の際、新庁舎建設事業費の備品購入費について、備品のリストを求めたが、いまだに届いていない。このことは何を意味するのか？</p> <p>①ことに国保の医療費適正化のためにも、市民の健康増進（成人病対策など）のためにも、須坂方式の保健指導員の取り組み（担当職員の現地視察などを含めた）を期待したいのだが如何か？</p> <p>②今後「分野横断的な企画」を推進するために、さらなる市の組織の組み替えが必需と思うが？</p> |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発する議員 | 質問項目(大項目) | 質問要旨(中項目)         | 具体的な内容(小項目)  |
|-------|-------|-----------|-------------------|--|
| 20    | 阿部 健二 | 2. 農政について | (1) 農政は誰のものかについて  | <p>①国民の食糧自給率や食の安全確保などにも対処することが「農政」と思いきや、これまでの燕市議会では、ひたすら「農家を保護する、しない」の話ししか聞こえてこない。農家の不満苦情を聞き、それに対処することが燕市農林部の「農政」か？</p> <p>②サラリーマンたちは定年後、働きたくても働く場所がないのに、日本の農家は高齢化や後継者不足で悩んでいると聞く。<br/>この両者の不満を同時に解消できる方法が、いま話題の『市民農園からコミュニティファームへ』の中に潜んでいるような気がするが、素人臭い話しと一蹴されるか？</p>   |
|       |       |           | (2) 農業の大規模化について   | <p>①「TPPに参加してもしなくても日本の農業は衰退する。ならば、TPPを契機に日本の農業の構造改革を図り、むしろ打って出るべきだ」という議論もある」とは東京財団なる団体の上席研究員で大和総研顧問の原田泰氏の言葉である。<br/>「何もしなければいずれ衰退する」のであれば、市はこれまで以上に「農業の大規模化」を鼓吹すべきと思うのだが如何か？</p> <p>②そのときに大規模化された農業の夢を語らなければならないと思うのだが、市は『大規模化された農業のイメージ』を描いておられるか？</p>  |
|       |       |           | (3) フーリエの協同社会について | <p>①19世紀に生きたフランスの社会学者フーリエの提唱した「協同社会」は大規模な結合体であり、その結合体の住民は広大な協同宿舎で生活し、その周辺に農園や作業所などを配置するものである。<br/>フーリエの協同社会には、高齢化や後継者不足で悩む日本の農家が、或いは「協同」することで農業を持続できる姿が垣間見られるし、働きたくとも働く場所のない退職サラリーマンたちを吸収できる術が潜んでいるように思えるのだが如何か？</p> <p>②「協同宿舎」を、たとえば長野県泰阜村の(高齢者福祉施設も包括する)「悠々長屋」のようにするとか、北欧が発祥である集合住宅「コレクティブハウス」みたいなものにし、また、協同生活や農業の大規模化から生まれる“労働力の流動性”を食品加工などに活用することなども考えられると思うが？<br/>要は「農業の大規模化」で日本の農業が、どう変えられるかにまで立ち入って考える必要があるのではないだろうか？</p> |